

都市再生整備計画(第4回変更)

おかざきえきひがしちく
岡崎駅東地区

あいちけん おかざきし
愛知県 岡崎市

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	おがきし 岡崎市	地区名	おがきまきりしがし ちく 岡崎駅東地区	面積	39.7 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標

- 「人のにぎわい」をテーマに、魅力ある都市空間を形成する
- 目標1: 都市の玄関口のシンボリックな空間形成と、安全・快適なアクセス性の向上といった交通結節点機能を強化する。
 - 目標2: にぎわいを創出するため、人々が交流する環境空間を形成する。
 - 目標3: 防災機能の向上のための安心・安全なまちづくりを目指す。
 - 目標4: 音楽文化振興・にぎわいの創出や地域コミュニティを強化する事業を展開する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・本地区は、JR東海道本線及び愛知環状鉄道線の岡崎駅の東側に位置し、明治・大正時代から交通の拠点として発展してきた既成市街地であるが、古くからの木造家屋が建ち並び、幅員の狭小な道路も多いことから防災上の問題が懸念されている。また、近年は産業、文化などの都市機能の低下と都市基盤整備の遅れなどにより、交通の拠点としてふさわしい都市環境の形成に至っていない。そのため行政、文化、商業等の都市機能が、岡崎城下の「康生地区」に偏って集積する傾向をみせ、一極集中型の都市構造となっている。さらに、周辺都市や市内において、駐車場を完備した大型店などの立地が進み、来街者の減少など空洞化を招いている。

・第5次岡崎市総合計画、都市計画マスタープランにおいて、JR岡崎駅を中心とした地区は本市の「新都心核」(広域行政機能や文化機能などの集積を誘導し、交通拠点性を活かした新たな交流拠点を形成)と位置づけられている。

・岡崎市シビックコア地区整備計画では、官公庁施設と民間施設との連携による複合的なコアの形成による効果を期待するとともに、近代的で生活に密着した都市機能・形態・景観を目指し、全体として人にやさしい魅力を形成し心象に残るにぎわいあるまちづくりを行うこととしている。

- ・平成3年に岡崎駅東土地区画整理事業が開始された。
- ・平成8年に岡崎市シビックコア地区整備計画が建設省に承認され、平成10年～13年においてシビックコア地区整備推進連絡協議会が開催された。
- ・平成11年に「シビックコア地区整備事業」が地域戦略プランの国土庁承認を受け、交流空間の拡大を目指している。
- ・平成12年～14年に住民参加による「街並み景観検討会議」が開催され、街並み景観の方向性、道路・ポケットパークのイメージ、歩行者重視道路における景観整備プランなどについて話し合われた。
- ・平成12年～16年にまちづくり総合支援事業において、都市基盤整備及び、新しい都市拠点となるシビック交流拠点の形成を行った。
- ・平成14年4月、本地区北部のシビック交流拠点にシビックプラザが完成した。
- ・平成15年5月から9月にかけて、岡崎駅東土地区画整理事業区域内における住民参加のまちづくり計画策定をすすめていくことを目的に、「岡崎駅東地区 景観施設計画会議」が開催された。

課題

- 人でにぎわう、魅力ある市街地形成を図る必要がある。
- ・車社会の進展に伴い、自動車交通に便利な郊外の幹線道路沿いへの都市機能の分散化により、活力(にぎわい)衰退傾向がみられるが、周辺市町から本市への商業・文化面での期待は大きく、今後も広域的な商業・文化の中心地としての役割を果たしていくことが必要である。
 - ・駅への安全・快適なアクセス性を確保するため、駅前広場の通過交通の排除等、交通ネットワークの形成が必要である。また、都市の玄関口としてのシンボリックな空間形成が必要である。
 - ・都市環境の形成、にぎわいの創出のため、シビック交流拠点と産業文化交流拠点の2つの拠点間への人の誘導を図るとともに、来街者、居住者の憩いの空間を形成する必要がある。
 - ・地区内には、古くからの木造家屋が建ち並び、幅員の狭小な道路も多いため、防災機能を向上させ、良好な住環境を形成する必要がある。
 - ・本市初の音楽専用ホール「コロネット」やジャズコレクションの認知度もまだ十分ではなく、シビックセンター交流広場等で行われるイベント来場者数についても増加をさせる必要がある。

将来ビジョン(中長期)

本市の新都心核として、広域的な文化・交通・交流・行政機能の形成

- ・「第5次岡崎市総合計画」において、「シビックコア計画の推進により官公庁施設と民間施設の集積、連携を進め、賑わいの創出を推進するとともに、住民や事業者等の理解のもと魅力的な街並み形成を誘導する」ことを目指している。
- ・「都市計画マスタープラン」では、「快適と安全を形に自然と歴史を個性に交流を力にする都市づくり」をテーマに、駅前広場や周辺道路網の整備による交通ターミナル機能、交通ネットワークの形成を目指している。また、土地区画整理事業などによる整備を図り、良好な交通条件を生かした安全、快適な住宅市街地の形成を目指している。

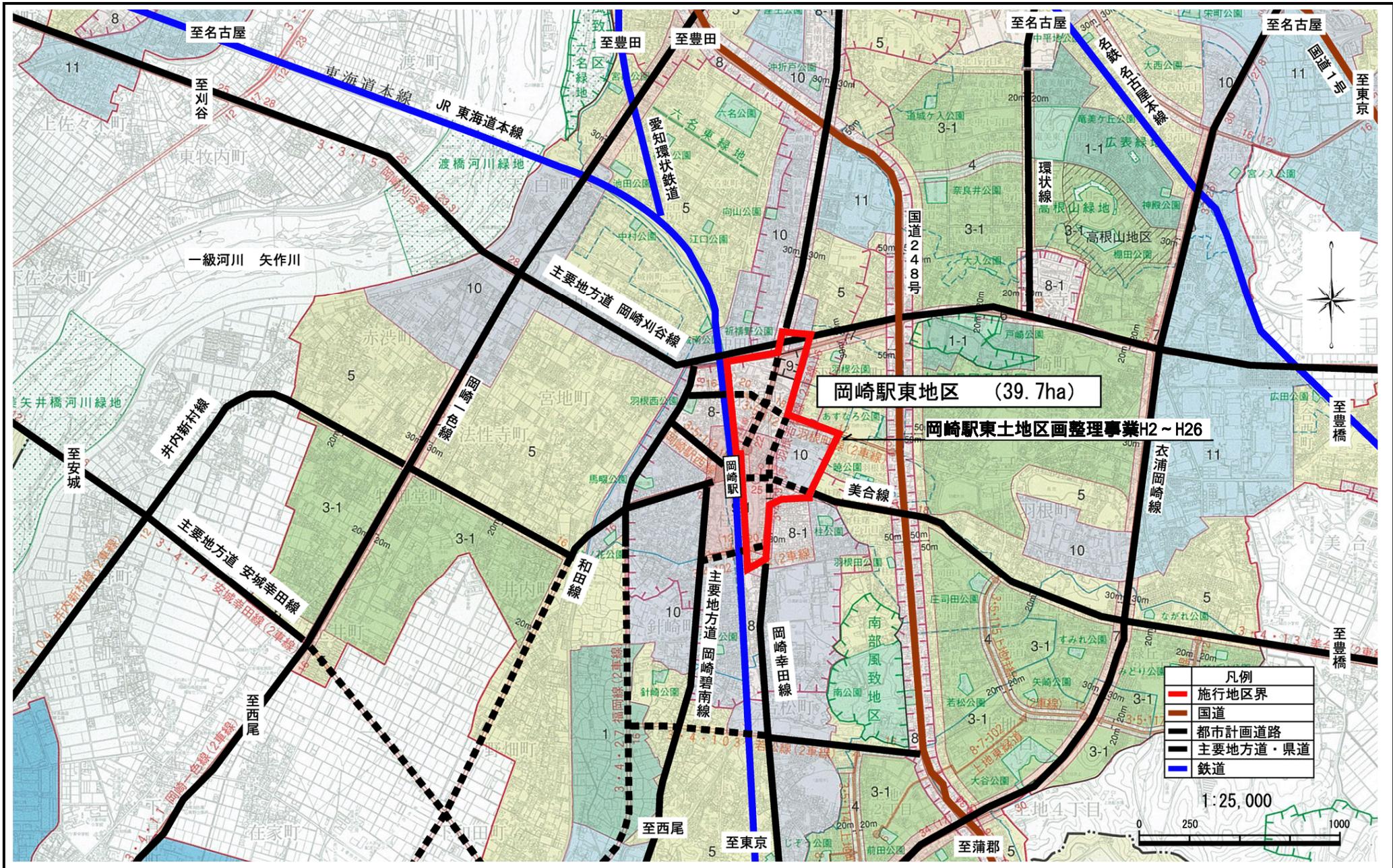
目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
岡崎駅の乗降客数	人/日	岡崎駅の1日当たりの平均乗降客数	交通結節点である駅前広場を整備することにより車利用者の利便性はもちろん、歩行者の安全面も向上する。また、駅へのアクセス手段も増加すると考えられる。それに伴い、電車利用者が増加し、乗降客数に反映する。	29,800	14	34,300	21
にぎわいの満足度	%	にぎわいに対する市民評価(アンケート調査による)	歩行者重視道路、ポケットパーク等を整備し、人が集うまちづくりを目指す。それに伴い、まちに賑わいが戻り、市民の評価も上昇する。	24	16	60	21
地震による警戒宣言発令時の退避場所への所要時間短縮	分	退避場所から地区内全域をカバーする直線距離の時間換算	安心・安全なまちづくりを目指すため、地区内に公園・広場を整備し、地震による警戒宣言発令時の退避場所を確保する。	9	16	5	21
イベント来場者数	人/年	コンサート等による年間の来場者数	コンサートやイベントなどの来場者数の増加を図り、岡崎駅東地区のにぎわいの創出と地域コミュニティの強化を推進する。	47,700	15	55,300	21

都市再生整備計画の整備方針等

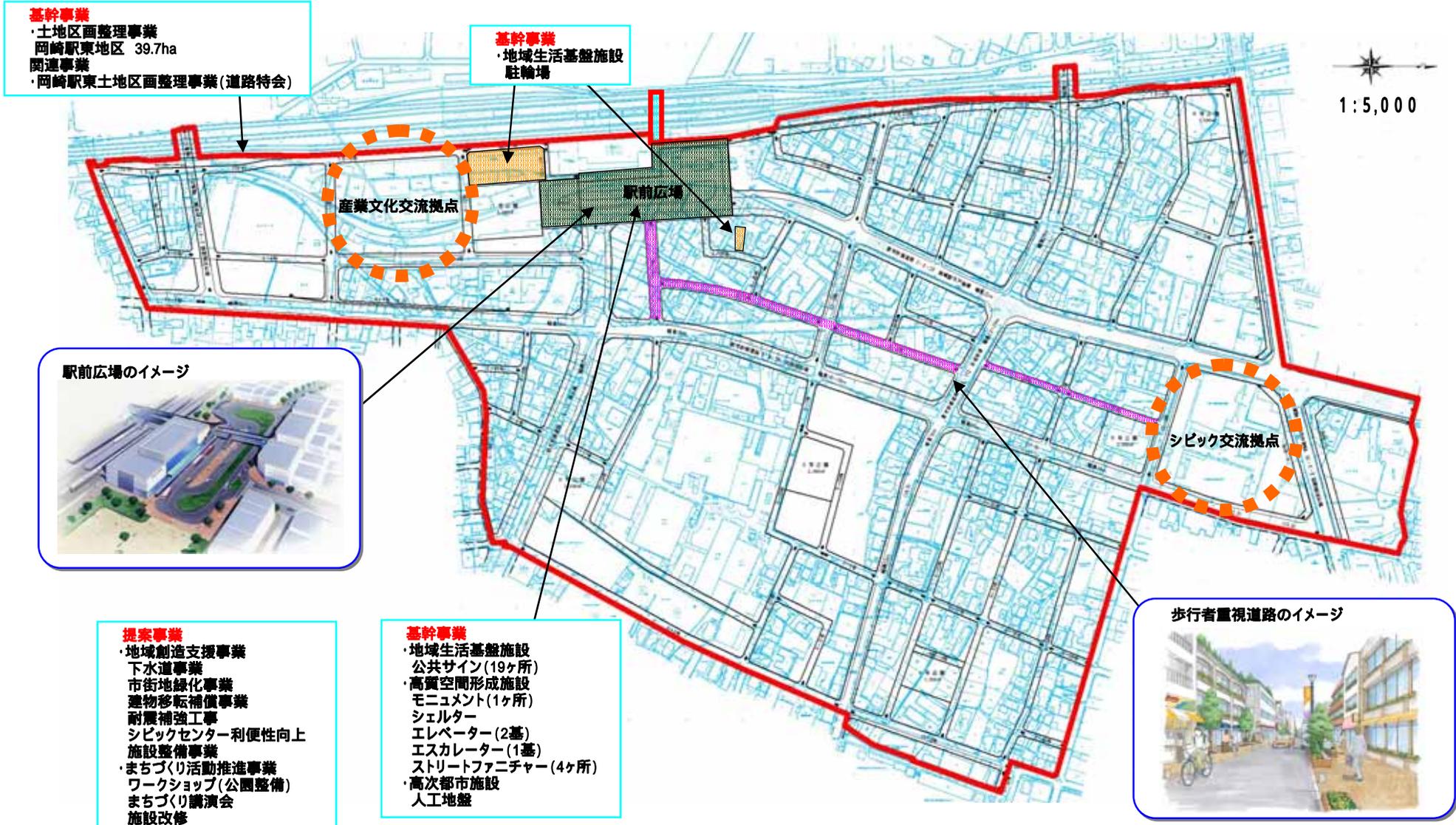
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1：(交通結節点機能の整備) ・駅前広場の交通結節点機能を整備することにより駅利用者の利便性を向上させる。また、歩行者に対しては人工地盤、エレベーター、エスカレーター、シェルダー等を整備することにより安全・快適なアクセスを提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎駅東土地区画整理事業(関連事業/道路特会) ・高質空間形成事業(基幹事業/シェルダー、エレベーター、エスカレーター) ・高次都市施設事業(基幹事業/人工地盤)
<p>整備方針2：(回遊性の創造とオープンスペースの整備によるにぎわいの創出) ・シビック交流拠点と産業文化交流拠点を結び歩行者重視道路を整備するとともに、歩きたくなる魅力的な空間づくりを目指し、広場やストリートファニチャーなどの設置整備を行う。 ・地域コミュニティを向上させるため、地域住民によるワークショップにおいて、公園整備を検討する等、まちづくり活動を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業(基幹事業) ・岡崎駅東土地区画整理事業(関連事業/道路特会) ・地域生活基盤施設事業(基幹事業/公共サイン) ・高質空間形成施設(基幹事業/モニュメント、ストリートファニチャー) ・まちづくり活動推進事業(提案事業/ワークショップ(公園整備)、まちづくり講演会) ・地域創造支援事業(提案事業/市街地緑化事業)
<p>整備方針3：(防災機能向上のための基盤整備) ・土地区画整理事業により基盤整備を行い、狭隘道路をなくし、地区内の安全性を向上させるとともに、緊急時の避難経路を確保する。 ・緊急時の避難場所を兼ねた広場の用地を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業(基幹事業) ・岡崎駅東土地区画整理事業(関連事業/道路特会) ・地域創造支援事業(提案事業/下水道事業) ・地域創造支援事業(提案事業/建物移転補償事業) ・地域創造支援事業(提案事業/耐震補強工事)
<p>整備方針4：(音楽文化振興等によるまちづくり活動の推進) ・今まで音楽にあまり興味のない人やコンサートホールに足を運んだことのない人をターゲットとする魅力ある事業を実施する。 ・地域住民主体によるイベントや、だれでも気軽に参加できる交流事業を実施する。 ・にぎわいの更なる推進を図るため、施設整備の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シビックセンター施設整備事業(提案事業/施設改修) ・シビックセンター利便性向上施設整備事業(提案事業)
<p>その他</p> <p>シビックコア地区整備について 本地区の一部は平成8年に岡崎市シビックコア地区として建設省に承認され、また、平成11年には地域戦略プランの国土庁承認され、以下のような目標のもとまちづくりが行われている。 「官庁施設、都市施設、民間施設が一体となった新しい都市空間構成への更新を区画整理事業との整合を図りながらすすめる。また、建築形態や都市空間づくりに関して、地区の伝統を継承しつつ生活に密着した人にやさしい魅力や心象にのこる賑わいあるまちづくりをすすめる。地区全体のポテンシャルアップをめざす。」</p> <p>その中で、国の合同庁舎・立体駐車場、市のシビックセンター・立体駐車場を整備することにより、いつでも人々が集める魅力・賑わい・活力ある交流拠点を形成することを方針としていたシビック交流拠点内に、平成14年、シビックプラザが完成している。</p> <p>まちづくり協議会によるイベント開催</p> <p>平成12年に岡崎市シビックコア地区整備計画区域に生活する者、土地権利者、自治会の代表者などがシビックコア地区まちづくり協議会を結成した。その後、平成14年のシビックセンターの供用開始以降、協議会と岡崎市が中心になり様々なイベントが開催されている。その概要を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成14年：協議会と岡崎駅前発展会が「花のまちづくり事業」で都市計画道路の沿道にプランター100基を設置。 ・平成14年：岡崎市シビックセンター交流広場において、協議会が主催する「スプリングフェスティバル」を開催。(以降協議会のメンバーが主体となり実行委員会を組織して毎年春に実施) ・平成14年：岡崎市シビックセンター交流広場において、協議会が主催する「納涼盆踊り大会」を開催。(以降協議会のメンバー及び総代会他の地元の各団体が主体となり実行委員会を組織して毎年夏に実施) ・平成14年：岡崎市シビックセンター交流広場において、岡崎市が主催し、協議会が後援する「ウインターフェスティバル」を開催。(以降毎年12月に実施) ・平成16年：協議会と岡崎市が共催で「まちづくり講演会」を開催 	

<p>岡崎駅東地区(愛知県岡崎市)</p>	<p>面積 39.7 ha</p>	<p>区域 岡崎市羽根町、柱町、針崎町の各一部</p>
-----------------------	-------------------	-----------------------------



岡崎駅東地区(愛知県岡崎市) 整備方針概要図

目標	「人のにぎわい」をテーマに魅力ある都市空間を形成する	代表的な指標	1.岡崎駅の乗降客数 (人/日)	29,800 (H14年度)	34,300 (H21年度)
			2.にぎわいの満足度 (%)	24 (H16年度)	60 (H21年度)
			3.地震による警戒宣言発令時の避難場所への所要時間短縮 (分)	9 (H16年度)	5 (H21年度)



基幹事業
 ・土地区画整理事業
 岡崎駅東地区 39.7ha
 関連事業
 ・岡崎駅東土地区画整理事業(道路特会)

基幹事業
 ・地域生活基盤施設
 駐輪場



提案事業
 ・地域創造支援事業
 下水道事業
 市街地緑化事業
 建物移転補償事業
 耐震補強工事
 シビックセンター利便性向上
 施設整備事業
 ・まちづくり活動推進事業
 ワークショップ(公園整備)
 まちづくり講演会
 施設改修

基幹事業
 ・地域生活基盤施設
 公共サイン(19ヶ所)
 ・高質空間形成施設
 モニュメント(1ヶ所)
 シェルター
 エレベーター(2基)
 エスカレーター(1基)
 ストリートファニチャー(4ヶ所)
 ・高次都市施設
 人工地盤



0 5 10 20 300m